

令和2年度 大阪府立茨木工科高等学校(全日制の課程)

第3回学校運営協議会

1. 開会の挨拶(大阪府立茨木工科高等学校 校長 杉山 裕二より)

- ◆ 緊急事態宣言下での学校経営について
- ◆ 令和3年度もよろしく申し上げます

2. 座長挨拶(近畿大学 名誉教授 本津 茂樹より)

- ◆ 令和3年度もよろしく申し上げます

3. 出席者紹介(大阪府立茨木工科高等学校 教頭 井上 直人より)

- 本津 茂樹(近畿大学 名誉教授)
- 野村 明仁(茨木市立西中学校 校長)
- 中蘭 ひとみ(大阪府立茨木工科高等学校 元 PTA 会長)
- 丸尾 弘子(大阪府立茨木工科高等学校 PTA 会長)
- 俵 比呂志(春日地区 連合自治会長)
- 杉山 裕二(大阪府立茨木工科高等学校 校長)
- 井上 直人(大阪府立茨木工科高等学校 教頭・事務局長)
- 河井 茂美(大阪府立茨木工科高等学校 事務局長)
- 龍 忠男(大阪府立茨木工科高等学校 首席)
- 三好 賢治(大阪府立茨木工科高等学校 首席)
- 橋爪 勇一郎(大阪府立茨木工科高等学校 首席)
- 東郷 真明(大阪府立茨木工科高等学校 生活指導部長)

- 稲垣 義雄(大阪府立茨木工科高等学校 進路指導部長)
- 田中 啓陳(大阪府立茨木工科高等学校 電気系長)
- 赤穂 和則(大阪府立茨木工科高等学校 工学系長)
- 東郷 鐘信(大阪府立茨木工科高等学校 教諭)
- 高槻 秀斗(大阪府立茨木工科高等学校 教諭)

4. 令和2年度 前期での本校教育活動について協議(座長より)

4-1. 令和2年度 学校運営計画及び学校評価について(校長より)

令和2年度 学校運営計画及び学校評価(P.2~3)

□中期的目標より

- ・ コロナにより完遂は難しかった
- ・ 学校教育自己診断の結果-Q11「子供をこの学校に入学させてよかった」
89.6%→73.6%に減 コロナの影響か

□本年度の取扱内容及び自己評価より

《確かな学力》

- ・ 生徒による「授業はわかりやすく楽しい」前年度の55.4%から57%へ
- ・ 生徒による「教え方に工夫している先生が多い」肯定率65%以上を上回った

《安心安全で魅力ある学校づくり》

- ・ 一日3~4人の遅刻 だんだん減ってきている
- ・ 学校教育自己診断の教育相談関連の肯定的回答48.8%→55.7%へ
- ・ 清掃点検 良好94%
- ・ 部活動加入率 少ない原因をもっと分析したい

・ SDGs についても協力

・ 一月末までに80時間以上勤務している先生が11人

《自立・自己実現の支援》

- ・ 新型コロナウイルス感染対策としてインターンシップの中止
- ・ 第二種電気工事士合格率落ちた
- ・ 旋盤技能検定中止

- ・企業訪問なし
- ・電話連絡での企業数は100件以上
- ・第一志望就職合格率78%
- ・第一志望進学決定率94
- ・SST.R&D 打ち上げ実験

《地域連携・地域貢献の取り組みの推進》

- ・出前授業4校実施(うち1校はオンライン) 今後もう1校予定
- ・受験者数を増やしたい
- ・HP更新 活躍の場面が少なく更新も少なめ コロナ情報を多く発信
- ・課題研究作品「朝礼台」2校に2月19日寄贈
- ・茨木工科展 コロナ禍により中止

4-2. 令和2年度 学校教育自己診断アンケート結果(首席より)

生徒アンケート結果(P.4)

- ・肯定的回答が約6~7割 昨年度より上がっている
- ・その代わり2年生の肯定的回答が減少
- ・概ね学校には満足して通っているのではないか
- ・生徒との関係を重視している先生が多いのではないか
- ・この自己診断アンケートの後にいじめアンケートも実施 問題はなかった
- ・Q3の3年生の肯定的回答は90%以上
- ・Q8の2年生の「わからない」が増えた 進級により専門科目が増えたからではないかと考えられる
- ・Q1とQ11は似ている Q11の方が肯定的回答が多い

保護者アンケート結果(P.5)

- ・割合的には昨年と大きな変化ない
- ・自己診断と保護者アンケートの肯定的回答の割合比率は似ている
- ・授業参観は今年度行うことができなかったため Q8は仕方がないのでは
- ・Q9についても中止のケースが多かったため
- ・Q10昨年より下がっている

教職員アンケート結果(P.6)

- ・コミュニケーションがよく取れている職場なのでは(首席私見)
- ・4～5月の休校に教職員同士のコミュニケーションを撮る時間が多かったからではないか

Q：保護者アンケート Q9 の昨年度はどのくらいなのか(PTA 会長より)

よくあてはまる だいたいあてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない わからない
A： 11.34% 32.10% 10.84% 6.32% 39.50%

4-3. 令和2年度 資格取得状況(首席より)

令和2年度 資格取得状況の資料(P.7)

- ・国家資格取得 昨年度と比べて受験者数減少
- ・電気工事士〈第1種・第二種〉受験者数とその合格率減少
- ・危険物3月に試験があるため最終結果ではない
- ・履歴書に書くための資格合格と就職試験とが間に合わないことで断念する生徒もいた
- ・情報技術検定3級 昨年度より合格率減少
- ・その他検定や資格は例年通り

4-4. 令和2年度 課題研究発表会について(首席より)

令和2年度 課題研究発表会(別冊)

- ・発表会については中止 クラス発表は無事終了
- ・研究内容については別冊の課題研究発表会冊子をご覧ください
- ・新3年生にはまだ冊子を渡せていない

4-5. 令和2年度 生活指導報告(生活指導部長より)

令和2年度 生活指導についての資料(P.8～9)

- ・遅刻数 1300 件以下を目標
- ・1月末までの集計 昨年より40%減
- ・寝坊 体調不良 自転車トラブル 通院 事故 交通延着未承認 その他
・504回 159回(今年度増加) 60回 2回 8回 10回 82回
- ・合計 825 回(1月までの集計)

- ・登校する日数が減った分は土曜日授業でだいたい±0になった
- ・全体を見て生徒の様子はかなり落ち着いてきている
- ・学校外の自転車マナー、ネットトラブルが増加傾向 関係機関と連携が必要
- ・コロナの影響により自転車交通安全講習会等の講習会が全て延期
- ・ネットリテラシー講演会、9月に開催予定

Q：遅刻数減少は先生方の努力なのか(春日地区自治連合会長より)

A：それもそうではあるが、保護者の協力も多くあった(送り出し等)

4-6. 14期生(令和3年3月卒業予定者)進路決定状況(進路指導部長より)

14期生(令和3年3月卒業予定者)進路決定状況(P.9~10)

- ・機械系4年生大学の希望者一名についてはまだ未受験
- ・学校紹介就職については希望117名全員決定している
- ・縁故その他欄 一名減っていることについては、生徒長欠になり学校外で働いているため
- ・求人数はかなり増えている 一次内定については昨年度より78%と減少
- ・年度始めは70%ほど4年生大学を希望していたが、進路先を変えたことにより58.3%と減った

4-7. 令和2年度 大学連携・特別講習年間授業結果(工学系長より)

2020年度 大学連携・特別講習年間授業結果(P.11)

- ・大学の先生の講義を見たり、話を聞いたりする
- ・オープンキャンパス参加は難しく、リモートの説明動画を多く取り入れた
- ・毎週水曜日に追加授業として7限目を実施

4-8. 令和3年度 学校経営計画[案](校長より)

令和3年度 学校運営計画及び学校評価(P.12~13)

《確かな学力》

- ・肯定的回答70%以上を目指す

《安心安全で魅力ある学校づくり》

- ・遅刻数1000件以下

- ・部活動加入率 50%以上は継続 原因を分析

《自立・自己実現の支援》

- ・インターシップ参加数 30 名

4-9. 質疑及び意見交換

- ・特になし

5. 閉会の挨拶(大阪府立茨木工科高等学校 校長 杉山 裕二より)

- ◆次年度協議については決まり次第連絡します

6. 事務連絡(大阪府立茨木工科高等学校 教頭 井上 直人より)

- ◆次年度協議について